



ひばり

<http://www.meguro.ed.jp/meguro3j/>
mail meguro-3jp@meguro.ed.jp

目黒区立第三中学校

学校だより NO. 18
(通巻76)

平成24年(2012)
3月9日(金)

保護者会資料

平成24年度 新学習指導要領全面実施 『学校はこう変わる』

校長 飯野 博史

平成24年度から「新学習指導要領」による新しい教育課程がスタートします。本校では、平成21年度から3年間の移行期間で、新学習指導要領改訂の趣旨を取り入れた教育活動を先行して実施してまいりました。平成24年度のスタートにあたり、改めて新学習指導要領改訂の趣旨をご理解いただき、新たな取組等にご協力をよろしくお願いいたします。※「すぐにわかる新しい学習指導要領のポイント」(文部科学省)を参考にしました。

子どもたちの「生きる力」を育みます。

学習指導要領の理念は「生きる力」です。それは、知・徳・体のバランスのとれた力のことです。

知：確かな学力 **徳**：豊かな人間性 **体**：健康・体力

学力の重要な3つの要素を育成します。

- ① 基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせます。
- ② 知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現できる力を育成します。
- ③ 学習に取り組む意欲を養います。

思考力・判断力・表現力を育みます。

言語の力を使って、子どもたちの思考力・判断力・表現力などを育みます。

例えば、

仮説を立てて観察や実験を行い、結果を分析・解釈する活動や、日常生活での出来事を科学的な言葉を使って説明する活動を進めます。(理科)

伝統や文化に関する教育を充実します。

例えば、

男女共に武道を必修にします。(保健体育) → 柔道を行います

我が国の伝統的な歌曲や和楽器について学習します。(音楽) → 三味線の演奏

道徳教育を充実させます。

学校の教育活動全体を通じて、子どもたちの道徳性を養います。

例えば、

先人の伝記、自然など魅力的な教材を使用します。→ 水曜日5校時「道徳の授業」

あいさつ、規範意識、自他の生命の尊重、社会への主体的な参画などについて指導します。→ 引き続き人権教育や学級経営、道徳の授業に力を入れ、「人と人とのかわり」を大切にしていきます。

健やかな体を育てます。

子どもたちが生涯にわたって運動に親しみ、健康を保ち、豊かなスポーツライフを実現できるようにします。

例えば、

保健体育科を中心に、様々な運動に触れる機会を充実します。健康・安全に関する学習を充実します。→持久走、スポーツテスト、運動会、区連体。薬物乱用防止教室の実施。

理数の力を育みます。

国際的に通用するカリキュラムにするとともに、新しい科学的知見を取り入れるため、学習内容を充実します。

例えば、

数学では、3年生で「二次方程式の解の公式」について学習します。また、大切な内容を繰り返して学習することや、学習の中で学んだことを実生活で生かすような学習などを進めます。

外国語教育を充実します。

小・中・高等学校を通じて外国語（英語）教育の充実を図ります。

例えば、

中学校では、学ぶ語数を900語から1200語に増加するなど、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能をバランスよく育成します。→週3時間から4時間に。

体験活動を充実します。

子どもたちの社会性や豊かな人間性を育むため、自然の中での集団宿泊活動、職場体験活動などを充実します。→八ヶ岳自然宿泊体験教室（1年）、職場訪問（1年）、職場体験（2年）、修学旅行（3年）、福祉体験（3年）、毎週金曜日朝清掃ボランティア

授業時数が増加します。

授業時数の増加は、「詰め込み教育」への転換ではなく、主に次の学習を充実させるために行うものです。→「振り返りシート」を使って、学習意欲を高めます。

- ① 各教科等において充実した指導事項の学習
- ② つまづきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習
- ③ 知識・技能を活用する学習（観察・実験やレポート作成、論述など）

「ゆとり」か「詰め込み」かではなく、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成との両方が大切。それぞれの力をバランスよくのばしていきます。

子どもたちの「生きる力」を育むためには、学校・家庭・地域の連携・協力が必要です。

子どもの教育は、学校だけで行われるものではありません。子どもたちの「生きる力」を育むためには、学校・家庭・地域が相互に連携しつつ、社会全体で取り組むことが不可欠です。

家庭で育む「生きる力」…家庭教育は全ての教育の出発点です。

皆さんのご家庭では、いかがですか？

- ・いつも家庭で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつをする。
- ・学校の出来事について子どもと話す。
- ・早寝早起きを心がける。
- ・お手伝いの習慣をつける
- ・親子で話し合っ、テレビやゲームの時間などルールを決める。

地域ぐるみで子どもの教育に取り組む環境づくりを進めていくことが大切です。